

「教室にクーラーを」

子どもたちのいのちと健康が守られる学校に アンケート概要

2023年9月1日

新日本婦人の会

1. アンケートの背景・目的

この夏、北海道では記録的な猛暑が続き、いのちと健康を脅かす危険な状況になるなか、8/22 に伊達市の小学校で体育の授業後、熱中症とみられる死亡事故が起きてしまいました。温暖化が進み、「地球沸騰の時代」とも言われるなか、北海道でも「教室にクーラーを」の願いは切実です。酷暑のもとで学校生活を送る子どもたちの実態や保護者の意見を行政に届け、教室にクーラーを設置させる予算の実現のためにアンケートを集めました。

2. アンケート対象

北海道在住の保護者、教員

3. アンケート方法

Google フォームを使用しているオンライン調査

4. アンケート期間

2023年8月25日（金）～2023年8月31日（木） 7日間

5. 調査結果の回収状況

回答数：763人分 自治体数：59

6. 調査結果の概要

- 回答者の属性：保護者 79%、教員 12.5%、その他 8.5%
- 子どもの通学先
 - 保育所・幼稚園 22.5%
 - 小学校 58.8%
 - 中学校 29.3%
 - 高校 16.3%
 - 特別支援学校 1.8%

7. アンケートの詳細

- 学校等で取られている対応、子どもの様子
- 保護者としての要望

8. 所感

2018年に公立小中学校普通教室へのエアコン設置予算が付けられ、2022年度の調査で全国では95%を超える設置率となっているが、北海道の小学校は16.5%と非常に低い設置率となっている。この夏の災害級ともいえる北海道の暑さに、教育をうける権利も生存権も脅かされていること、現場では後手後手の対応となっていたこと、待たなしの危機的状況であることがアンケートからも見えた。

2021年に文科省が、公立小中学校施設への空調設置によってどのような教育環境向上の効果があつたか調査を行い、「授業に集中できるようになった」「快適に過ごせるようになった」「体調が安定した」との回答が上位を占めたことが示されている。この間の温暖化傾向でいわゆる寒冷地であっても、この先毎年猛暑日が続く可能性があるなかで、伊達市の事例のような悲しい事故の再発防止と、教育の機会均等のためにもエアコンの設置と必要に応じて空調管理ができるよう電気設備と電気代の補助は必須であると考えます。

自治体名	人数
札幌市中央区	12
札幌市西区	22
札幌市手稲区	17
札幌市東区	67
札幌市北区	77
札幌市白石区	23
札幌市厚別区	8
札幌市豊平区	25
札幌市清田区	11
札幌市南区	11
旭川市	12
網走市	1
石狩市	18
岩見沢市	30
江別市	16
小樽市	5
帯広市	42
北見市	2
釧路市	3
苫小牧市	8
函館市	117
富良野市	33
室蘭市	13
稚内市	1
伊達市	32
七飯町	30
北斗市	26
北広島市	10
美唄市	6
音更町	6
滝川市	4
せたな町	2
三笠市	2
士別市	2

自治体名	人数
枝幸町	2
長万部町	2
八雲町	2
幕別町	2
むかわ町	1
安平町	1
浦河町	1
浦幌町	1
遠軽町	1
芽室町	1
釧路町	1
栗山町	1
恵庭市	1
厚沢部町	1
更別村	1
根室市	1
鹿追町	1
木古内町	1
深川市	1
千歳市	1
大空町	1
秩父別町	1
長沼町	1
弟子屈町	1
登別市	1
島牧村	1
東川町	1
奈井江町	1
南幌町	1
本別町	1
夕張市	1
余市町	1
利尻町	1
留萌市	1
茅部郡	16
雨竜郡	1
夕張郡	2
十勝	1

752

追加資料：別冊子：「教室にクーラーを」集まった声一覧

[保護者](#) / [教職員](#) / [その他](#)

アンケートより一部抜粋

<保護者の声 ~小学校>

○学校が短縮授業になったが一番暑い 13 時頃に 20 分以上歩いて帰宅する状況だった。子どものいのちを守るために、保健室だけでなく、各教室にクーラーの設置をお願いします。(札幌市手稲区)

○始業式から、暑さからか体調が悪く遅刻してしまいます。これ以上犠牲になる子どもがでないように命がかかっているということでクーラーをつけてほしいです。(札幌市豊平区)

○帰宅すると、頭痛で動けない日々を送っています。勉強がわからなくなるのが嫌だから休みたいとはないといます。扇風機も教室に 2 台しかなく、風さえも当たらない状態です。クーラー (の設置) が一番の願いです。学びの場が辛い環境であるなんてゆるせません。早急に対処願います。(伊達市)

○うちの学校は児童数が多く、教室も多い為、これ以上扇風機やスポットクーラーを増やすと主の電源が足りなくなるため増やせないとのこと。35℃超えて 34 人のクラスで家庭用扇風機 1 台。具合悪くなり、早退する子も何人もいます。なのにハンド扇風機もうちわも禁止です (札幌市東区)

○夏休み前に教室に設置の扇風機が 2 台とも壊れていたのに夏休みにならないと直さないとのこと。命に関わる事態なのに扇風機も後回しになっている実態に疑問。教室には昔からエアコンがなかったから必要ない、という慣習はもう通らない現状です。毎年酷暑の中、扇風機だけで 30 人以上集まる個室で平気なわけがない。死亡事故も起きている。毎朝送り出すことにも不安を感じる。低学年は特に体調が悪い、いつもと違うのを自分で気づきにくい。水分補給も日々我慢しているのではと不安が募る。(札幌市北区)

○授業を午後 1 時までにしたが、下校時が一番暑い時間。教室内が暑いと子どもが言っていた。一部の学校だけでなく、全ての日本の小中高校にクーラー設置をすべきだと思います。(富良野市)

○小学校は 1 日目登校で体調不良が多発したため、2 日目は休校、3 日目は休校しても自宅で留守番の場合かえって危険との判断で登校でした。連日 30 度超えの室内温度と聞いています。学習環境はおろかとても命が守られる環境とは思えません。早急な対策をお願いします。(富良野市)

○うちの下の子はとても汗かきです。水分もしっかりとっていますが、今年の夏は顔を真っ赤にし、頭痛を訴えることが何度かありました。上の子に関しては、水分をあまりとらない傾向にあるため、授業中頭痛を訴え保健室に行ったと言っていました。この暑さ、大人でも体力消耗してしまいます。体調不良に気付くことがしっかりできない子どもたちのために教室にクーラー必要だと思います。(石狩市)

○熱中症アラートが出され午後から休校に。最も高温になる時間帯に下校するのも酷です。我が子は家族

が迎えに行き、車で移動できましたが、炎天下のなか、真っ赤な顔で歩く子どもたちを見るのが辛かった。子どもたちの環境を安全にするために、エアコンは必需品です。設置を急いで。(音更町)

○最上階 (4 階) は特に暑く顔を真っ赤にして帰宅。2 年前に校舎を新築した際、冷房が無いことに驚きました。これから平均気温は上がる事が解っているのに、できる限り早くクーラー設置を (札幌市北区)

○教室の中は 38 度! 扇風機 2 台しかなく、30 人以上いる教室では風なんてこないし、なんの意味もない! と、子どもは怒っていました。熱中症対策として下校時間が早まりましたが、暑さがピークの時の下校となり、顔を真っ赤にして帰ってきました。途中で倒れず無事帰ってきて良かったと、本当に安心しました。学校では暑さで鼻血を出す子や、具合が悪くなった子が多くいたそうです。何度か教育委員会に要請しましたが、予算がないとしか言いません。子どもたちや先生のいのちを守るためにも、そして環境が良い中で勉強ができるためにも、クーラー設置と少人数学級を強く求めます。(旭川市)

○クールリングや保冷剤あらゆるものを持たせましたが 1 時間後には溶けてしまいました。水筒も空っぽでした。14 時帰宅時には顔は真っ赤、服は汗で濡れ、翌日から熱中症で 1 週間学校おやすみしました。家にはクーラーがありますが学校にはないので子どもは「学校は地獄。暑さが辛くて学校に行きたくない」と。先生方は「すみません」と謝ってきていますが、悪いのは気候です。解決策はクーラーです。扇風機やサーキュレーターは涼しい風は出ません。全道の子ども施設や学校にクーラーをお願いします。(茅部郡・森町)

○暑さのせいで貧血のような症状が出たらしいです (子ども自身はそれが貧血かわからず先生には言わなかったようです)。猛暑は来年再来年と続いていくので何か起こる前にクーラーを。(札幌市東区)

<保護者の声 ~中学校>

○扇風機 2 台で、窓側の席は異常な暑さ。滝の汗とのこと。中学生からしても死を感じるくらい環境だそうです。社会人の環境とは雲泥の差です。早急な対応をお願いします (札幌市東区)

○学校の対応は、部活動の休止、軽装やこまめな水分補給等に留意させる。息子は寮生活なので、寮にもクーラーや自由に使える冷蔵庫がありません。逃げ場がないのです。汗疹ができて、全身がかゆくて痛いと話しています。体温も 37℃以上でも平熱として生活しているそうです。(函館市)

○30℃を超える教室で学習を子どもに強いるのは、虐待。学校環境衛生基準にも外れている。亡くなった子どもが可哀想でならない。明日はわが身で、部活動や下校途中で倒れているのではないかと心配でならなかった。4、5 年前、本州の子どもが学校で熱中症で亡くなった時、全国に文科省からクーラー

の予算がついた。その時、文科省も、道教委も、本気で子どもの命を守りたいと考えて行動していたら、子どもは死ななかったのではないか。本気で子どもの命と健康、学ぶ権利を守って欲しい。(小樽市)

○子どもは教室に入れない(不登校だった)子なので、図書室か進路指導室で過ごしている。扇風機を付けてもらっている。ただ、暑さに弱い体質のため熱中症になりやすく、猛暑日は休むこともある。通学も心配。先日、知り合いの子どもが暑い日の通学途中、自転車で倒れたということがあった。(江別市)

○登校距離長く、学校ついて暑い教室。体育館は熱気がすごい。下校はもう暑くて歩けない。30度超えの状態勉強出来ると思いますか？ どうか早めに設置してください。(函館市)

<保護者の声 ~高校>

○通学するだけで精一杯、帰宅したらぐったりしてすぐ寝ます。高校生はほぼ強制参加の夏期講習もあり、冷房は必須だと思います。更に勉強道具が重いので、持参できる飲み物に限界があり、定価の自販機で1日何本も飲み物を買うのでいくらお小遣いがあっても足りません。来年にはどの公立高校にもクーラーがないと健康も損なわれ学力も低下します。(札幌市手稲区)

○制服で登校後、ジャージに着替えていた。後にジャージ登校も許可されたが1日だけ。あとは普段と変わらず、屋外の部活動も顧問の判断に任せられている。学校にエアコンがなく短縮授業にされても、自宅にもエアコンがないので意味が無い。暑い中、自力で帰宅しなければならないし、小学生のように学童などの受け皿もないため、仕事をしていて家を留守にしている保護者としては心配でしかない。小・中学校ももちろん、道立高校にもエアコンを導入してもらいたい。(札幌市西区)

○制服からジャージへの変更。ジャージでも生地が厚いため、暑さに変わりはない。環境を整えてこそ、学びに集中も出来ると思います。是非クーラーの設置をお願いいたします。(札幌市中央区)

○高校生の長女から、教室には扇風機しかないのに先生の都合(音読に支障が出る)で勝手に消したり、付けたりして暑くて本当に辛いと話していました。室温30度の中で扇風機も付けられないでの授業は虐待に近いものがあると思います。(伊達市)

<教職員の声より>

○教室が暑くて勉強になりません。子どもたちに何か起きたらいつも以上に神経を使います。本州なみの暑さなのにクーラーがないのは異常な環境なのではないか。あり得ない環境です。(札幌市南区)

○特別支援学校。朝から30℃超。昼は35℃。熱中症症状の生徒続出。クーラーのある保健室は満室状態。職員も熱中症状で帰宅。寄宿舎職員も体調悪くなり救急搬送された。勉強する以前の問題。いつ救急搬送者が出るか不安な状態で教員は働いている。体温

調節できない子や持病のある子どもが通っている特別支援学校についていない事態がおかしい。この状態では学校だけで命と健康は守れない。(札幌市手稲区)

○北海道の気候がここまで変化することはありえないと考えていましたが、いざこの現状の中で日々過ごしていると、学校と言う施設には、保健室以外にどこにも逃れられるところはなく、そこも限られた人数しか対応できない状況であることが恐ろしく感じます。さっきまで元気だったのに、急に不調を訴える生徒も多くいました。校舎も風通しが大変悪く、ひどい状況です🌀(岩見沢市)

○暑くて勉強どころではありません。暑いと気持ちも落ち着かず、イライラしてトラブルも多くなります。低学年はなぜイライラするのもわからないので、「何もしてないのに〇〇された」というケンカが増えます。落ち着いて勉強したり、遊んだりするためにも教室環境が大事です。北海道でも暑い日は、教室にクーラーが必要です!!(利尻町)

○30℃超えの教室で授業を受け、ぐったりとした様子でした。また教員の執務室内も30℃を超え、パソコン等発熱する機器の多い中での執務で、教員が熱中症になりかけるといった状況でした。クーラーは生活に欠かせないものであることは、桶川市における生活保護者のクーラー設置訴訟からも生活必需品であり、命と健康を守るために必要なことも明らかです。殺人的で災害級とまで言われるようになった、この猛暑に対して、家庭におけるエアコンの設置率が低い北海道で、せめて子どもたちを安全に生活できる避難所としての学校の責務は火を見るより明らかであり、早急に取り組まなければならない課題であります。どうか一日でも早く安全で安心出来る学校を作るために道のご協力を仰ぎたい。(鹿追町)

○とにかく、全教室、寄宿舎、職員室にクーラーつけてください。暑くて、毎日命を削り取られています。寄宿舎は、防犯のため0時には、クーラーのない中、すべての窓を閉め切っています。暑さで眠れず、睡眠不足の生徒が、日に日に増えています。いつ、事故が起きてもおかしくない体の状態です。命より尊いものではありません。すべての予算の最優先事項に、学校へのクーラー設置を、切に望みます。(室蘭市)

○職員室も教室も限界。冬のことも考えるとエアコン必須です。学校衛生基準を見直して校舎設備の拡充をただでさえGIGAで電子機器が増えて機器から出る熱で以前より環境が悪いのです。(札幌市北区)

○4階教室は連日34度を超えているので使用できない。子どもたちの安心安全のため設備が必要。命を守れない学校であってはならない。公的機関として災害時避難所としての機能も持たせなければならない学校としてエアコンは早急に設置しなければならない。各学校で子どもたちの声を聞いてほしい。(本別町)

○特別支援学校に勤務しています。児童生徒の安全のために窓を完全に開放できない教室が多く、さらに、構造化された室内では風通しもほとんど無い状況

です。各教室に1台ずつ扇風機がありますが、最近
は室温が32度を超える日が続き、児童生徒が楽し
みにしているプールでの学習や水遊び、屋内外での
体育的活動が、暑さのために全て中止。暑さから体
調が悪くても、教師にうまく伝えられない児童
生徒も多く、本当に危険な日々を過ごしています。
クーラーを設置することで、設置費用だけでなく高
騰している電気代が継続的にかかってしまうこと
もあり、難しいことは十分に理解できますが、児童
生徒はもちろん、学校職員の健康と安全のため、学
校にクーラーを設置していただくことを強く希望
します。(七飯町)

○暑さに慣れていない釧路地方の子なので、ぐったり
しています。伊達市の事故があったにもかかわ
らず、学校の対応は外での活動も予定通りに実施す
る「思考停止」状態。暑さ指数が「危険」を示して
いるにもかかわらず、炎天下で、地域清掃を予定通
り実施しました。職員会議で中止を求める私の意見
は通りませんでした。炎天下で、子どもたちは暑い
暑いと言いながらふらふら歩き、地域清掃どころで
はありませんでした。こんなことを子どもに強いる
のは、虐待です。この間、授業時数や学習進度など、
予定通りに進めることを強いられてきた学校
ですから、こうした非常事態に際しても「予定通り」
の呪縛から抜け出せず、まともな判断も対応もでき
ないのです。この暑さでは、クーラーは絶対に必要
です。そして、子どもの安全に対してまともに対処
できない学校、市町村教委に対し、道教委が子ども
の安全を第一に対応するよう、強いメッセージを緊急
に出すべきです。(弟子屈町)

○もう授業になりません。暑くて命の危険すら感
じます(留萌市)

○道立高校の養護教諭です。通学で熱中症とな
った生徒も、クーラーがきいた保健室で休養すると、
体調の回復が早いと実感しています。暑い日の教室
は大変危険だと感じています。でも、学校が危険だ
からといって簡単に休校にするだけでは子どもの命
は守られないと、今回の猛暑の日々で感じました。
家にクーラーのない生徒も多く、外出できる生徒は、
図書館などの公共施設、または商業施設で過ごす
ことができます。それができない子は、暑い部屋で親
の帰りを待っているしかありません。学校にクー
ラーを設置し、子どもが安心して過ごせる場所
にしてほしいと強く思います。(札幌市手稲区)

○今日も教室は34℃。「簡易クーラー」が設置
されるも、校舎が古いのでスイッチを入れると電
気が足りなくなって、すぐに止まります。また、自
衛隊が近く、防衛省の補助による防音窓のため、
窓を開けない前提なので網戸が少なく、蜂などの
侵入を考えるとあまり開けられない。やはり、エ
アコン設置可能な校舎への改修とエアコンの設
置に尽きます。網戸も全部の窓にほしいです。(安
平町)

○私は夜間定時制高校。1コマ分の授業をやる
だけで汗が吹き出しタオルで汗を拭きながら過
ぎしている状態です。生徒達に給水の呼びかけ
や体調不良は

すぐに申し出るようにも言っています。ただ生徒
達は給水許可は申し出ても体調不良で授業を抜
けることはありません。それだけ身体に負担を
かけながら過ごしている、ということです。いつ
熱中症患者がでてもおかしくないこの状況を打
破するにはエアコンの設置以外方法がないもの
と考えます。(札幌市北区)

○夜間定時制ですが日が暮れても気温の高さは
変わりません。生徒は集中力が欠けぐったりし
ています。頭痛・めまいで普段欠席しない生徒
が欠席しました。(恵庭市)

○現状だとエアコンをフル稼働させると電源
が落ちてしまうほど脆弱。電気代などランニ
ングコストについても予算立てをしっかりと。
暑さで「学びの機会」を奪うことは二度と
ないようにしたい。(札幌市東区)

○暑いため数名熱中症になる。教室は暑すぎ
て授業になりません。各教室に一台ずつクー
ラーを設置してください。スポットクーラー
でごまかすのはやめてください。(東川町)

○熱中症の症状で2人保健室へ、職員室も扇
風機のみで仕事にならない状態。自分は本
州出身ですがこの暑さは危険レベルです。
生徒と教職員の生命と健康をまもるため
にクーラーは絶対に必要です。学校見学会
で群馬から来ていた方が、アンケートに
教室のクーラーは必要ですと書いていま
した。勤務している町の小学校中学校
にはクーラーがついています。高校に
来るとクーラーが無い中での学習を余儀
なくされています。教育にお金をかけ
て大事にしてくれているかどうか子
どもは感じてます。安心して学べる
環境をととのえてください！(帯広市)

○制服登校を強いられた坂道をふらふらにな
って登校、学習に集中できていない。命を
守るためにも教室のクーラー設置は必然。
北海道にもクーラー設置を。(音更町)

○学校は生徒も教職員もグツタリです。「
授業時数の確保」というプレッシャーが
問題です。「本質的な学の確保」が大切
です。各学校はそれぞれの状況に応じて、
放課後や長期休業中に補習や講習を行
っています。すでに学習は確保されていま
す。しかし現実には、暑すぎる日も授
業やらねばあとで面倒くさいことにな
る、と管理職はもちろん教職員も思
ってしまうのです。服装だって涼しい
柔軟な服装がいいと思います。(網走市)

○エアコンは必要だが電気代をどうする
かの議論もしてほしい。おそらくPTAの
負担にされる(室蘭市)